



## シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_全学モジュール I -4. 教育と社会**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586018502	科目番号	05860185
授業科目名	●教育と社会 I (教育原理論)		
編集担当教員	関谷 融		
授業担当教員名(科目責任者)	関谷 融		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	関谷 融		
科目分類	全学モジュール I 科目、教職に関する科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教]22講義室		
対象学生(クラス等)	経済学部,薬学部,水産学部		
担当教員Eメールアドレス	sekiya@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-813-5170		
担当教員オフィスマワー	上記電話番号にて		
授業のねらい	教育(学)の根本概念、及びその振る舞いを理解すること。		
授業方法(学習指導法)	講義方式。		
授業到達目標	教育(学)の根本概念の有効範囲(効用と限界)を説明することができる。		
授業内容	教育(学)のいくつかの根本概念を取り上げ、それらによって何が見えるのか、また何が見えなくなるのかについて講義する。取り上げる概念は、授業の進度をみながら追加したり削除したりする場合がある。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション / 「子ども」という根本概念で何が見えるようになったか その1	
	2	「子ども」という根本概念で何が見えるようになったか その2	
	3	「子ども」という根本概念で何が見えないなくなったか その1	
	4	「子ども」という根本概念で何が見えないなくなったか その2	
	5	「成長」という根本概念で何が見えるようになったか その1	
	6	「成長」という根本概念で何が見えるようになったか その2	
	7	「成長」という根本概念で何が見えないなくなったか その1	
	8	「成長」という根本概念で何が見えないなくなったか その2	
	9	「理解」という根本概念で何が見えるようになったか その1	
	10	「理解」という根本概念で何が見えるようになったか その2	
	11	「理解」という根本概念で何が見えないなくなったか その1	
	12	「理解」という根本概念で何が見えないなくなったか その2	
	13	「能力」という根本概念で何が見えるようになったか その1	
	14	「能力」という根本概念で何が見えるようになったか その2	
	15	「能力」という根本概念で何が見えないなくなったか その1	
16	「能力」という根本概念で何が見えないなくなったか その2 および 定期試験		
キーワード	パラダイム		

教科書・教材・参考書	授業時に提示(可能ならば長大の学内ファイルサーバーにアップロードするので、それを入手する)。
成績評価の方法・基準等	定期試験(定期試験が実施できない場合はレポート)100%。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_全学モジュール I -4. 教育と社会**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月1																												
開講期間																															
必修選択	選択	単位数	2.0																												
時間割コード	20120586019302	科目番号	05860193																												
授業科目名	●教育と社会 I (教育行政・制度論)																														
編集担当教員	木村 拓也																														
授業担当教員名(科目責任者)	木村 拓也																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	木村 拓也																														
科目分類	全学モジュール I 科目、教職に関する科目																														
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																												
教室	[教]22講義室																														
対象学生(クラス等)	経済学部,薬学部,水産学部																														
担当教員Eメールアドレス	kimura-t@nagasaki-u.ac.jp																														
担当教員研究室	アドミッションセンター(入試課奥)																														
担当教員TEL	095-819-2115																														
担当教員オフィスアワー	随時(メールでアポイントを必ず取る)																														
授業のねらい	本講義の目的は、将来、教職に就く者として必要な教育行政、教育制度、教育財政、教育法に関する専門知識の習得することである。																														
授業方法(学習指導法)	本講義では、前半で教育行政・教育制度・教育財政・教育法についての専門知識について講義する。講義の後半には、グループ・ディスカッションの時間や自分自身の考えをレポートする時間が設けられ、その成果を提出することが毎週求められる。																														
授業到達目標	教育行政・教育制度・教育財政・教育法についての専門知識を理解し、それを十二分に踏まえた教育観・教育論を構築することができることを到達目標とする。																														
授業内容	<p>日本の教育行政・制度をその成立から現状、公教育の組織原理と理念の解説に至るまで網羅的に講義する。教育制度の現状とそれを支える教育行政組織と教育法規を併せて解説することで、教職員としての日本の教育行政・制度に対する深い理解と教養を修得することを目的とする。教育社会学の学問的成果についての折に触れて解説を加えていく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>オリエンテーション</td></tr> <tr><td>2</td><td>公教育の組織原理と理念</td></tr> <tr><td>3</td><td>教育行政組織の概要(1) 中央教育行政組織</td></tr> <tr><td>4</td><td>教育行政組織の概要(2) 地方教育行政組織</td></tr> <tr><td>5</td><td>教育制度の概要(1) 学校制度</td></tr> <tr><td>6</td><td>教育制度の概要(2) 教育行政財政制度</td></tr> <tr><td>7</td><td>教育制度の概要(3) 生涯学習体系</td></tr> <tr><td>8</td><td>教育法と教育制度(1) 教育行政法の意義と構造</td></tr> <tr><td>9</td><td>教育法と教育制度(2) 教育費・授業料の構造</td></tr> <tr><td>10</td><td>教育法と教育制度(3) 教育課程と教科書行政の仕組み</td></tr> <tr><td>11</td><td>教育法と教育制度(4) 学校と保護者・子どもの法的地位</td></tr> <tr><td>12</td><td>教育政策・制度論トピック(1) 教員政策・行政の概要</td></tr> <tr><td>13</td><td>教育政策・制度論トピック(2) 教育機会の平等と財政保障</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション	2	公教育の組織原理と理念	3	教育行政組織の概要(1) 中央教育行政組織	4	教育行政組織の概要(2) 地方教育行政組織	5	教育制度の概要(1) 学校制度	6	教育制度の概要(2) 教育行政財政制度	7	教育制度の概要(3) 生涯学習体系	8	教育法と教育制度(1) 教育行政法の意義と構造	9	教育法と教育制度(2) 教育費・授業料の構造	10	教育法と教育制度(3) 教育課程と教科書行政の仕組み	11	教育法と教育制度(4) 学校と保護者・子どもの法的地位	12	教育政策・制度論トピック(1) 教員政策・行政の概要	13	教育政策・制度論トピック(2) 教育機会の平等と財政保障
回	内容																														
1	オリエンテーション																														
2	公教育の組織原理と理念																														
3	教育行政組織の概要(1) 中央教育行政組織																														
4	教育行政組織の概要(2) 地方教育行政組織																														
5	教育制度の概要(1) 学校制度																														
6	教育制度の概要(2) 教育行政財政制度																														
7	教育制度の概要(3) 生涯学習体系																														
8	教育法と教育制度(1) 教育行政法の意義と構造																														
9	教育法と教育制度(2) 教育費・授業料の構造																														
10	教育法と教育制度(3) 教育課程と教科書行政の仕組み																														
11	教育法と教育制度(4) 学校と保護者・子どもの法的地位																														
12	教育政策・制度論トピック(1) 教員政策・行政の概要																														
13	教育政策・制度論トピック(2) 教育機会の平等と財政保障																														

	14 教育政策・制度論トピック(3) 高等教育機関の配置とアクセス
	15 まとめ
	16 定期試験
キーワード	公教育の組織原理と理念、教育行政組織、教育行財政制度
教科書・教材・参考書	次の課題図書のうち一冊を購入し、読書レポートとする必要がある。 藤田英典『義務教育改革を問いなおす』2005年、ちくま新書。 小林雅之『進学格差』2008年、ちくま新書 吉川徹『学歴分断社会』2009年、ちくま新書。 小川正人『教育改革のゆくえ』2010年、ちくま新書。 参考書 平原春好『概説 教育行政学』2009年、東京大学出版会。
成績評価の方法・基準等	中間に課す読書レポートと期末に課すテストの評点を合計して評価する。 課題図書を購入する必要があるので注意すること。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	教職科目
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	将来、「教員になる」という前提での受講態度を望みます。遅刻、欠席、途中退席、私語があった場合は、厳しく評価します。基本的には資料を配布します。課題提出のために、課題図書を購入する必要があります。





## シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_全学モジュール I -4. 教育と社会**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586018902	科目番号	05860189
授業科目名	●教育と社会 I (教育心理)		
編集担当教員	原田 純治		
授業担当教員名(科目責任者)	原田 純治		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	原田 純治		
科目分類	全学モジュール I 科目、教職に関する科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教]22講義室		
対象学生(クラス等)	経済学部,薬学部,水産学部		
担当教員Eメールアドレス	harada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館2階(222室)		
担当教員TEL	095-819-2396		
担当教員オフィサー	メールにて問い合わせること。		
授業のねらい	将来教職に就くものにとって、各教科の指導内容・方法に精通することに加え、教育指導をどのように行うかにあたり児童生徒の心身の発達、学習のメカニズムやその動機づけ、健全なパーソナリティの育成等について基礎・基本となる教育心理学的な知識や基本的な教育的態度の習得は必要とされる。		
授業方法(学習指導法)	講義形式。		
授業到達目標	教育的諸事象を心理学の視点から捉え考察することができる。 教育心理学の知見を効果的な指導に役立てることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	教育心理学の役割・性質	
	2	幼児・児童生徒の発達 ①乳幼児期、児童期	
	3	幼児・児童生徒の発達 ②青年期	
	4	学習 ①学習の理論とそれに基づく指導法	
	5	学習 ②学習の動機づけ	
	6	パーソナリティ ①理論的考察	
	7	パーソナリティ ②パーソナリティと適応	
	8	パーソナリティ ③測定法	
	9	教育評価	
	10	教師の心理	
	11	学級集団の心理	
12	学級集団の指導		

	13	教育臨床
	14	障害児の心理と指導
	15	学校教育心理学の研究手法
	16	試験
キーワード	発達、学習、パーソナリティ(人格と適応)、教育評価	
教科書・教材・参考書	特に用いない。	
成績評価の方法・基準等	1. 授業への貢献度(10%) 質問、講義中の質問への回答など 2. 定期試験(90%)	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		

